



《東京都中学校長会》
1月会長だより

令和2年1月17日（金）
（地区代表者連絡会）
会長 酒井 泰

1 挨拶

令和2年の新春を迎えました。令和元年度（平成31年度）の東京都中学校長会、そして各学校ともに今年度の取組も残り3か月となりました。今年度の評価を基にした次年度の教育課程の編成に取り組まれていることと思います。

令和元年12月27日に東京都から「未来の東京」戦略ビジョンが発表されました。すでにご覧になっていることと思いますが、「2040年代の東京ビジョン」の第2番目に「新たな教育モデルにより、すべての子供・若者が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ東京」として、「新たな『東京教育モデル』が根付き、自らの人生を自らの意思で切り拓いていける力が育まれている」という目標が示されています。子供の学び方や教員の教え方を転換することで実現する「東京教育モデル」では、子供たちの学ぶ意欲に応え、子供たちの力を最大限に伸ばすためのトータルツールとして、教育のICT化を強力に推し進めるとされ、「TOKYOスマート・スクール・プロジェクト」をはじめ、数多くのプログラムが計画されています。教育に関する内容・取組が20の「ビジョンやそれに基づく戦略」の2番目に位置付けられていることは注目すべきことで、教育に対する期待がとても高いことを認識する必要があると思います。

さて、日々の教育活動に視点を移すと、私たち教員にとって生徒たちとのコミュニケーションを円滑にし、十分な意思疎通を図ることが指導の基盤となります。しかし、特に最近は言葉によるコミュニケーションが苦手な生徒が増える中で、上手に生徒の気持ちを把握することが難しくなっている例も増えてきていると思います。私は教員になって数年経ったある日に、中学生を指導する教員の基本的な心構えとして一つの言葉を教えてもらいました。それは「聴く」という言葉です。「聞く」ではなく「聴く」ということに意味があります。「聴く」という漢字を分解すると、「十四の心に耳を傾ける」ということとなります。14歳に代表される思春期の子供たちの心の内を十分に慮って、子供たちの話に耳を傾けて指導することこそが大切、との教えでした。自分の思いをなかなか話してくれなくなるこの時期の生徒たちの考えや気持ちを理解するためには、やはり言葉に出して話さなければわかりません。大人のを考えを一方向的に押し付けるのではなく、「なぜ、どうして」と、多少時間がかかっても話し合いながら指導を進めていくことが、重要であると考えます。30数年経っても忘れない、私にとっての指導の基本となっている言葉です。

2 当面の課題

(1) 都立高等学校入学者選抜における改善への対応及び入試への対応

令和2年度に向けた都立高等学校入学者選抜の改善が進められていることは、進路対策委員会より各地区担当委員を通じてお知らせしているところです。今後も、英語4技能を問うための考査等の円滑な実施に向けて、進路対策委員会を中心となり都教育庁入学者選抜担当と意見交換を行っていくこととなります。

1月7日(火)には、進路対策委員会と各中学校の協力により都立高校全日制等志望予定

調査（推薦選抜・第一志望）がまとまり、プレス発表されたところです。各学校での集計へのご協力に感謝申し上げます。

これから各校では出願準備に入ります。願書や調査書等の作成・出願等で不備がないよう、中学校としても万全なチェック体制を整えていく必要があります。本会としても出願のミスがないよう、各地区校長会に積極的な呼びかけをお願いします。

(2) 令和2年度東京都中学校長会活動方針の策定

12月の地区代表者連絡会でも提案された、令和2年度東京都中学校長会活動方針の策定を本格的に進める時期を迎えています。次年度の活動方針は、新学習指導要領の完全実施と移行措置への対応を踏まえた内容となります。私たちのこれまでの活動の目標、課題への取組等をもとに、これからの中学校教育の重点事項とその実現に向けた環境整備に、本会としての明確なメッセージを表明する必要があります。活動方針の策定に向け各地区校長会や各部・各委員会等において十分議論していただき、各校長の経営の指標となる活動方針を策定したいと思います。皆さまのご協力をお願いします。

3 連絡・報告事項

(1) 関東甲信越地区中学校長会理事会、全日本中学校長会理事会

関東甲信越地区中学校長会理事会が1月10日（金）に実施され、全日本中学校長会理事会が1月24日（金）に開催されます。来年度の関地区中神奈川（横浜）大会並びに全日和歌山大会の開催に向けた準備が本格的になります。

(2) 明日のTOKYO作文コンクール

1月16日（木）に、「明日のTOKYO作文コンクール」の表彰式が東京オペラシティコンサートホールで行われました。4,000名を超える都内中学生の応募者の中から選ばれた優秀作品の表彰が行われました。今回のテーマは「わたしたちの文化と世界の文化～異なる文化を理解し合い、認め合う社会を目指して～」で、日本と世界の文化の違いに関心を持ち、互いを尊重し、よりよい社会を作るために自分たちができることなど、自らの体験を通じて感じ、そして考えた、これからの社会に生きる人間として大切にしたいことが著されています。

(3) 都教育庁指導部との教育連絡会を開催

12月16日（月）に、都教育庁指導部との教育連絡会を開催しました。増田指導部長様をはじめ、指導部の課長及び主任指導主事の皆様との今年度2回目の連絡を開催できました。中学校におけるプログラミング教育の推進や特別支援教育の充実に関する意見交換など、様々な議論ができました。特に、特別支援教室における巡回指導の一層の充実を図るために今後とも連絡会等を通じて意見交換を行っていきます。

(4) 都教育庁人事部との情報交換会・指導部との教育連絡会の今後の予定

令和元年度末を控え、人事部との第2回情報交換会を2月7日（金）に、指導部との第3回連絡会を2月18日（火）に行います。人事部および指導部への質問等があれば、各地区校長会から事務局にご連絡をお願いします。

(5) 高度IT社会の工業高校に関する有識者会議

令和元年12月25日（水）に、「高度IT社会の工業高校に関する有識者会議」が開催されました。都立工業高校の在り方について、Society 5.0に向けた人材育成、工業高校に求められるこれからの時代の教育、工業高校の魅力向上とイメージ戦略等について協議を重ね、令和2年4月に提言をまとめる予定となっています。